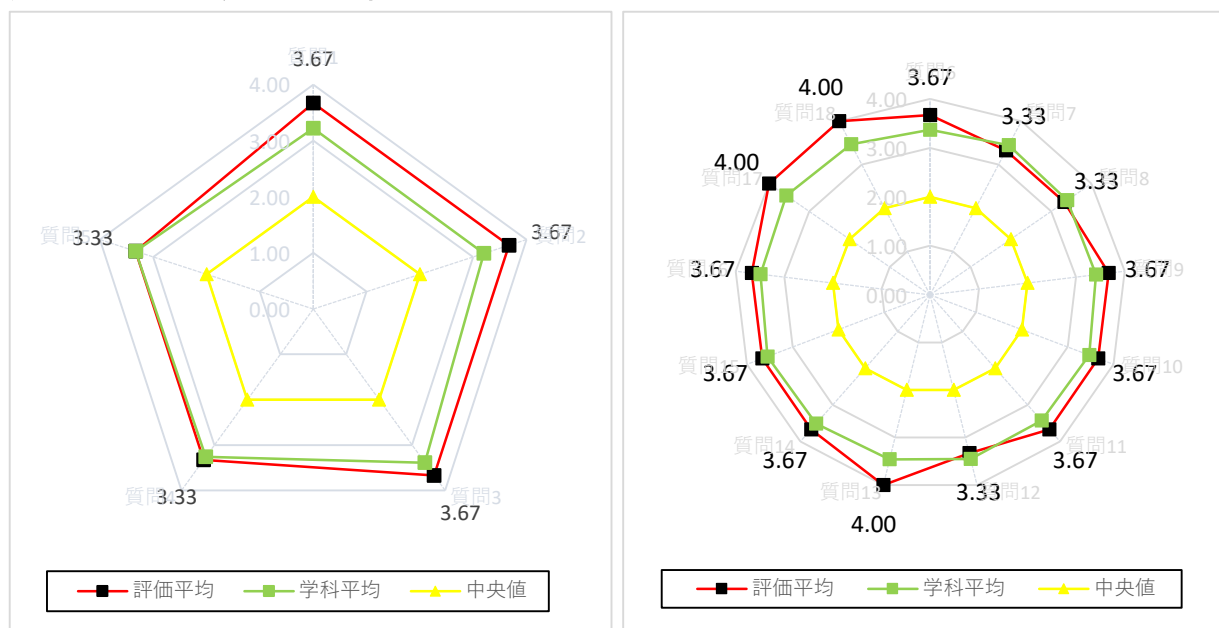


学部	学科	担当者	科目名	履修者数
デジタル社会共創学環	デジタル社会共創学環		あすなろう（初年次教育含）	4名

（１）学生による授業評価結果



（２）結果の分析と評価

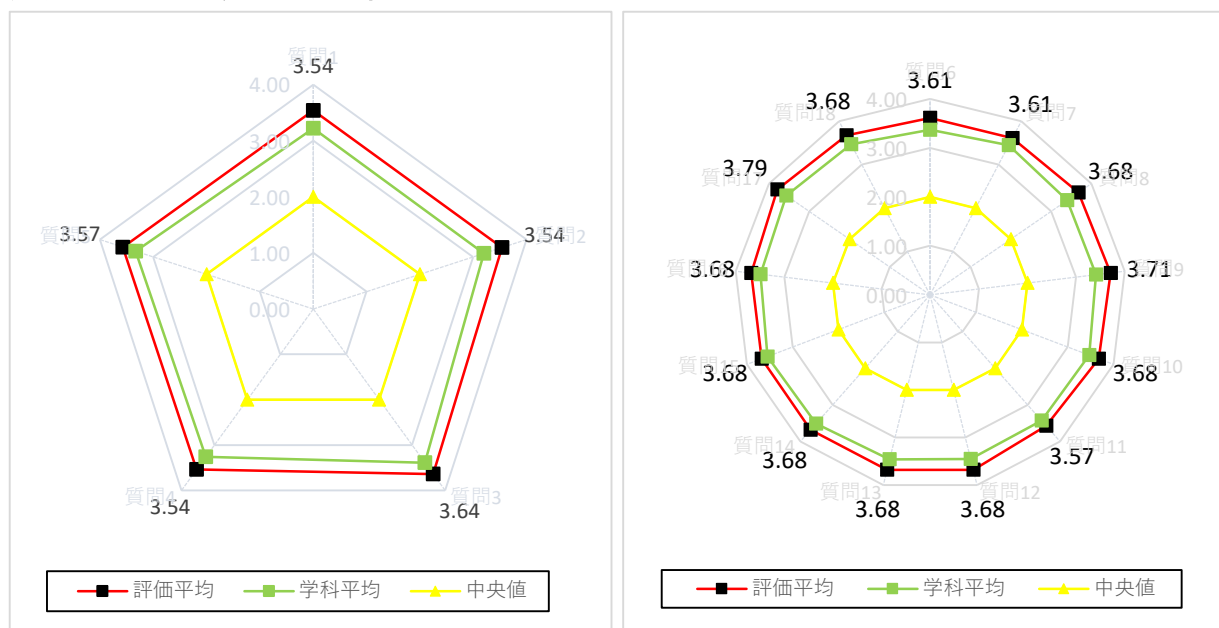
全項目において、ほぼ学科平均以上の得点を得ている。
 質問7教員は授業の到達目標を明確にして、授業を展開していましたか。
 質問8授業は興味・関心が持てる工夫がされていましたか。
 質問12席の大きさ・明瞭さ・話す速さは適切でしたか。
 以上3項目が、学科平均をやや下回っている。

（３）次年度に向けての取り組み

この授業は、学環全体で取り組んで授業を展開している。
 そのため、授業の到達目標は、全教員で学生に周知していく必要がある。
 興味を持たせるためには、より双方向型の授業内容を取り入れることが必要である。

学部	学科	担当者	科目名	履修者数
子ども学部 デジタル社会共創学環	心理カウンセリング デジタル社会共創学環		暮らしに潜む罠	62名

(1) 学生による授業評価結果



(2) 結果の分析と評価

質問11教科書・配布資料等は役に立ちましたか。
 以外の項目は、すべて学環の平均得点と同等、あるいはやや高い得点であった。
 この授業は「ハイブリッド型授業」のため、授業資料を配布することができなかったことが、質問11の得点に影響を与えていると考えられる。

(3) 次年度に向けての取り組み

次年度もハイブリッド型授業を実施するため、Teamsを用いてファイルに授業資料を毎回格納することで、対応を試みたい。